

市内で行われた活動やイベントを紹介します

10月12日(日)

第28回徳田まつり

〜伝統の獅子舞や太鼓を披露〜
能登歴史公園(能登国分寺公園向かい)

午前のステージでは、ひまわり保育園、あさひ保育園の園児たちによる演舞や、朝日中学校吹奏楽部の演奏、東雲高校ダンス部による踊りなどが披露された。地元の子どもたちのかわいらしく、活力あふれるステージを見るために、会場は大勢の観客でにぎわいを見せていた。

また、特別出演の島津悦子さんによる歌謡ショーも行われ、観客はその歌声に魅了されていた。最後に、徳田地区の各町会で受け継がれる獅子舞や太鼓などが披露され、会場は拍手に包まれた。



10月15日(水)

スティックウォーキング健康教室

〜どんだん姿勢がまっすぐに〜
鈍打公民館

フィットネスガレージななおでインストラクターをしている小椋崇さんと、職場実習生の富樫龍司(立教大学3年)さんが指導。さわやかな秋晴れの下、50〜80代の女性14人が参加した。

このウォーキングは、スティックを使い、腕を伸ばして体全体で歩くことで、膝への負担を少なくするもの。参加者は、歩くたびに姿勢も歩くテンポもどんだん良くなっていった。数左由起美さんは「普通に歩くより楽。良い汗をかくことができた。今後も続けていきたい」とすがすがしい表情で話した。



10月26日(日)

第4回ジュニア・エコノミー

〜創意工夫された商品で完売続出〜
能登食祭市場横特設会場

小学校5、6年生が5人1チームで模擬株式会社を設立し、社長役、財務部長役などの役割を決め、約3カ月間かけて仕入れから商品開発、利益分配までを行う企業体験プログラムで開発した商品を実際に販売するイベントが開催された。

商品には、七尾の特産物を入れることが条件。中島菜入りのパンケーキや能登白ねぎを薬味に使ったうどんなど、工夫を凝らした商品が並び完売が続出。各ブースからは「〇〇いかがですか!」「〇〇安いですよ!」と元気良くお客を呼び込む声が飛び交った。この体験で学んだことが、今後子どもたちの自信へとつながることに期待したい。



10月26日(日)

第9回のおとじまおつけ祭

〜能登島のまいもんだ集合〜
鰻目漁港

「おつけ」は魚や山菜が入ったみそ汁のこと。祭には、各種おつけのほか、能登島の農園で採れた新鮮野菜や果物など、たくさんのお土産が販売されていた。

また、アオリイカやカマスなど朝どれ鮮魚の直売所もあり、開始1時間前から50人以上の行列ができるほどの盛況ぶり。ブースで買った魚や牡蠣などの新鮮魚介類がその場で食べられる浜焼きスペースもすぐに満席になった。来場者は、秋晴れの下、おつけが入った茶碗を片手に、のどじまの美味に満ちた様子だった。



10月18日(土)

第14回災害トリアージ訓練

〜のと里山海道での多重交通事故を想定して〜
公立能登総合病院

トリアージとは、災害や事故などで多数の負傷者が出たとき、限られた医療資源で最大の救命効果を発揮するため、重症度を判別してグループ分けし、治療の優先順位を決定する処置のこと。訓練では、七尾消防署員と災害派遣医療チームが重症度を判別。さらに、病院まで搬送する間に容体に変化することから、運ばれて来た負傷者を再度医師が判別した。負傷者役から「助けて!、痛い!」という叫び声が上がリ、本番さながらの緊張感の中、訓練が行われた。消防・医療関係者は、多数の負傷者が出た時、一人でも多くの命を救うために、各自がどう行動すべきかを学んでいた。



10月20日(月)

漫画家宮下英樹氏

〜ふるさと納税寄附〜
市の文化振興に役立ててほしい〜
七尾市役所

相撲漫画の「ヤマト猛る!」や、戦国時代の武将を描いた「センゴク」シリーズなどの代表作がある漫画家の宮下英樹さんは七尾市石崎町出身。平成20年から毎年寄附を続けており、今年初めて不嶋市長を訪れ、「市の文化振興に役立ててほしい」と願いを伝え手渡した。

宮下さんは仕事が忙しく、七尾へ帰って来る機会も少ないというが、不嶋市長との懇談では、御誠川や七尾城の話で盛り上がり、「1年に1回、ふるさと納税でつながりができればうれしい」と七尾への思いを話してくれた。



10月27日(月)

中央図書館入館者200万人達成

〜気軽に利用しやすい図書館を〜
七尾市立中央図書館

平成18年7月1日に七尾駅前ビル「ミナクル」3階に開館してから8年4カ月、中央図書館の入館者が200万人を達成した。記念すべき200万人目の入館者は、泉照世さん・心陽ちゃん親子と、高木純子さん・皇輔くん親子の2組。南副市長から、200万人入館者認定証と記念品が贈られた。

南副市長は「今後も、市民の皆さんにたくさん来てもらえるよう、気軽に利用できる図書館であってほしい」とあいさつ。泉さんは「キッズコーナーがあって利用しやすい。週に1回くらい、子どもの絵本を借りに来ている。」と話し、「突然のこと」と、とても驚いた様子だった。



10月31日(金)

ハロウィンパーティー

〜手作り衣装でアメリカの風習を体験〜
ひまわり保育園

本場アメリカでは仮装した子どもたちが、近所の家を回り「お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ!」と言って、その家の人からお菓子をもらう風習がある。ひまわり保育園では、この国際色豊かなイベントを27年前から行っている。園児たちは、かわいい魔女やおばけ、かっこいいドラキュラなどの手作り衣装で参加。

「トリック・オア・トリート。お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ!」と、大きな声を上げてカップいっぱいのお菓子をもらい、「ありがとう」と満面の笑みを浮かべ、本場と同様の雰囲気を楽しんでいた。

